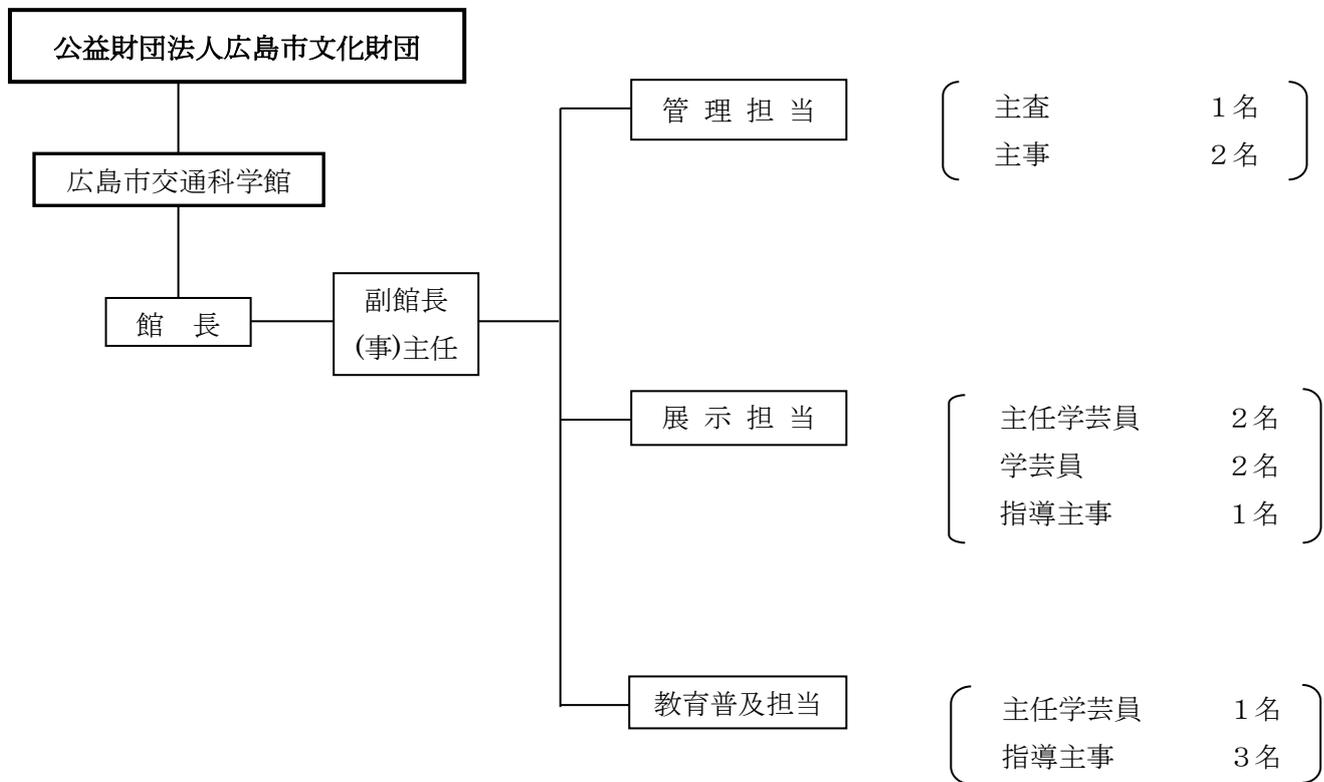


組織及び職員数

令和2年4月1日現在



計14名

1. 展示事業

●令和2年度 展示事業 実績報告

I 常設展示

(1) 世界の乗り物

当館では、航空機・船舶・鉄道・自動車の各分野における技術の発達を伝える乗り物模型2,000点以上を所蔵しており、その一部を分野別に展示しています。またこれら乗り物にかかわる情報は、館内各所に設置されている端末装置「ハイパーブック」で調べることができるようになっています。

(2) ハイパーブック

乗り物の発達に関する物語や、それぞれの乗り物の特徴などの情報について、ピークル博士の案内で絵本を読むように楽しく、また百科事典をひもとくように詳しく調べることができます。3月からは、スマホやタブレットからも利用できる「ハイパーブックWEB」に進化しました。

(3) シティランナー

正面の画面に現れる街（ピークルシティ）に入り込み、自転車で散策するように、また電車を運転するような感覚でその中を仮想移動体験できます。

(4) エポックシーン

ライト兄弟が初めて動力飛行した日の感動的なシーンやベンツの三輪車が走行する様子など、乗り物に関連した歴史的な4場面をミニジオラマでドラマティックに表現しています。カプセルの窓から中をのぞき込むような形で、各乗り物の名場面を見ることができます。

(5) ビークルシティ

日本最大級・直径20mの巨大な近未来交通パノラマ模型です。「空港」「オフィス」「文化・アミューズメント」「住居・学校」「シティリゾート」「生産・物流」の6つのエリアと、これらをむすぶ乗り物・交通のシステムを模型で構成しています。音楽や照明を使って、いきいきとした活気あふれるピークルシティの朝・昼・夜の一日を表現しており、人々の暮らしと乗り物が毎日の生活の中でどのように関わっているかを見ることができます。

(6) シティガイド

近未来巨大交通パノラマ「ピークルシティ」で使われている乗り物や交通の仕組みやシステムを、エリアごとに情報検索できる情報端末装置です。

(7) ビューカプセル

ピークルシティを見下ろすように設置された青・緑・赤・黄の4色の特殊映像カプセルで、青・緑色のカプセル内では、映像と音響によりピークルシティの中で繰り広げられるさまざまな物語をダイナミックなコンピュータ映像で体験できます。また赤・黄色のカプセルでは、ピークル博士のおもしろくてためになる乗り物のお話を視聴することができます。

II 企画展示など

(1) 春季企画展「はたらくラジコン」(平成30年度からの継続事業)

ア 期 間：5月22日(金)～5月31日(日) 10日間(うち開館日9日)

※当初の会期令和2年3月6日(金)～5月6日(水・休)の全期間が新型コロナ感染拡大防止に係る臨時休館期間にかかったため、臨時休館終了後、会期を延長して実施した。

イ 開催場所：2階 特別展示室他

ウ 観覧者数：3,620人(入館者総数)

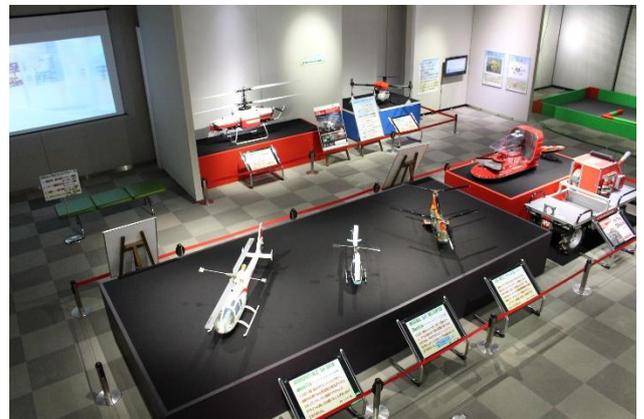
エ 展示内容：「ドローン」という呼び名で、ホビーとしてだけでなく様々な仕事現場でも使われるようになったラジコン。産業及び実生活に深くかかわる働くラジコンについて、作業用ドローンの実機、解説パネルや映像等で用途や仕組みを紹介した。

【主な展示品】

AileLinX 産業用UAV「AX-2」、EAMS JAPAN 産業用USV(無人水上艇)「レガート除草剤散布機モデル」

EAMS JAPAN 産業用UGV(無人陸上車両)「大分消防局災害対策用小型無人車両」、DJI製ドローン「PHANTOM3 Professional」、エアロサービス T.K.FFACTORY 製ドローン「TKF-Hexa proIV」など

オ 関連イベント：新型コロナ感染拡大防止のため中止



(2) 夏季企画展「未来はこれカラダ!—身体アシストテクノロジー」

ア 期 間：令和元年7月17日(土)～8月30日(日) 45日間(うち開館日39日)

イ 開催場所：2階 特別展示室、1階 エントランスホール他

ウ 観覧者数：22,237人(入館者総数)

エ 展示内容：人間の身体能力をアシストする様々な技術をモビリティ(移動性)の新たな可能性と位置づけ、搭乗型ロボットや産業用パワーアシストスーツ、パラスポーツ用具など実物資料を中心に、パネルや映像等で紹介した。



【主な展示品】

搭乗型ロボット「イクドム」、搭乗型ロボット「はじめロボット43号機」、スポーツ用義肢義足等、スポーツ

用車椅子、チェアスキー・バイスキー、動作拡大型スーツ「スケルトニクス」、搬送ロボット「AISLE」
ウインチ型パワーアシストスーツ「WIN-1」、アバターロボット「newme」など

オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
搭乗型ロボット「イケドム」試乗体験	27	1,199	1階エントランス
搬送ロボット「AISLE」デモンストレーション	15	446	2階 常設展示室



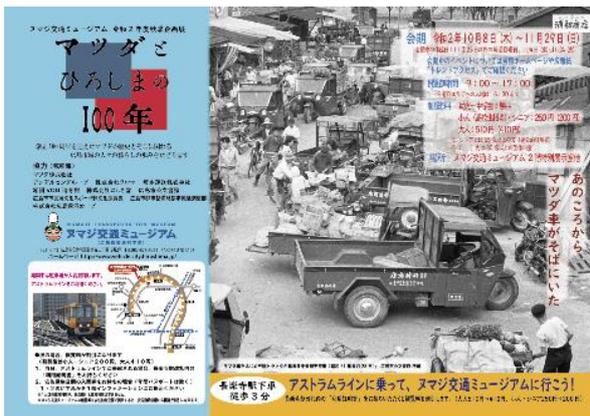
(3) 秋季企画展「マツダとひろしまの100年」

ア 期 間：令和2年10月8日（金）～11月29日（日）53日間（うち開館日45日）

イ 開催場所：2階 特別展示室、1階 エントランスホール他

ウ 観覧者数：27,430人（入館者総数）

エ 展示内容：日令和2年に創立100周年を迎えたマツダの歴史とそれに密接な関わりを持つ広島市域の人々の暮らしの100年間の歩みを、多数の解説パネルを中心に、3輪トラックをはじめとする実車資料などを交えて紹介した。



【主な展示品】

マツダヒストリックカー（三輪トラック GDZA 型、初代ファミリア（マツダ生産累計 200 万台記念車）

コスモスポーツ、RX500、コスモ L、RX-8 ハイドロジェン RE、三代目デミオ）

マツダと広島の 100 年を語る写真 246 点、グッズ・模型 85 点など

オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
講座「ロードスターストーリー」 (カーデザインに関する講演会)	1	54	1階 多目的ホール他
響け！ロータリーサウンド (所蔵車両エンジン始動イベント)	3	265	屋外広場
JAF交通安全イベント	6	691	1階 多目的ホール他
ちびっこ教室「ミニスポーツカー」	2	80	1階 クラフトルーム
あそびのひろば ラジコン体験	9	427	1階 多目的ホール



(4) 春季企画展「はたらくのりもの大集合！救難飛行艇US-2」（3年度への継続事業）

ア 期 間：令和3年3月5日(金)～5月5日(水・休) 62日間（うち開館日54日）

※令和2年度内は27間（うち開館日23日）

イ 開催場所：2階 特別展示室、1階 エントランスホール他

ウ 観覧者数：14,959人（入館者総数／令和2年度内）

エ 展示内容：海上自衛隊の救難専用飛行艇US-2をテーマに、世界随一の性能を誇る機体や国産飛行艇のあゆみ、US-2による救難活動の様子などを、エンジンやフロート・救助ボートなどの実物資料を中心に、大型模型や映像展示など交えて紹介した。



【主な展示品】

実物資料：フロート(US-1A), プロペラ(US-1A), T64型エンジン、専用タイヤ(US-2), 計器(PS-1)

迎え角・滑り角発信機(PS-1), PX-S 開発用風洞模型, 救助用ゴムボートなど

模 型：US-2(1/20), PX-S (1/24), US-2(1/48), US-1A(1/50), UF-XS(1/50), 二式飛行艇(1/50) など

オ 関連イベント（令和2年度内に実施したもの）

事業名・内容等	回数	参加人数	場所
ちびっこ教室「紙コップUS-2」（1日2回）	2	69	1階クラフトルーム
ちびっこ教室「牛乳パックUS-2」（1日2回）	2	69	1階クラフトルーム



(5) ビークルギャラリー

①「ヨーロッパ高速列車の旅」

ア 期間：令和3年2月9日(火)～2月14日(日)
6日間（うち開館日6日）

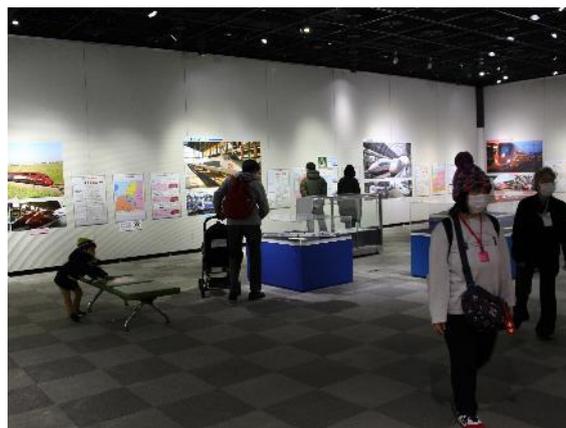
※新型コロナウイルス感染拡大防止に係る臨時閉館のため、当初予定期間12月16日(水)～2月14日(日)から短縮

イ 開催場所：2階 特別展示室

ウ 観覧者数：1, 103人

エ 展示内容：

ヨーロッパ各国の高速列車を、大判写真パネルを中心に展示・解説し、日本のものとは異なる列車の魅力を紹介する。



②「安佐南区内公共施設防災ネットワーク事業・パネル展示」

ア 期間：令和2年8月19日(水)～8月30日(日)
13日間（うち開館日12日）

イ 開催場所：1階 ガイダンスコーナー外縁

ウ 共催：安佐南区地域起こし推進課

エ 観覧者数：1, 448人

オ 展示内容：

安佐南区役所が実施する「安佐南区内公共施設防災ネットワーク事業」に協力し、土砂・豪雨災害の様子や防災に関する情報をパネルで紹介し、あわせて防災用品を展示することで地域防災力の向上及び区民の防災・減災意識の高揚を図った。



Ⅲ その他（一部企画展関連事業と重複）

(1) 被爆電車車内公開

- ア 時 期：毎月第3土曜日他（1日2回）計18回
※新型コロナ感染拡大防止に係る臨時休館のため14回中止（4・5・12・1月分）
- イ 開催場所：屋外広場
- ウ 参加者数：1, 511人
- エ 実施内容：
被爆しながらも戦後も長く活躍した広島電鉄650形路面電車（654号）の車内を一般公開した。



(2) 日本自動車連盟（JAF）広島支部との連携事業

① ドライバーズビジョン（視機能診断機）体験

- ア 時 期：6・8・11・3月第4土曜日他
（1日2回）計8回
- イ 開催場所：1階多目的ホールなど
- ウ 参加者数：762人
- エ 実施内容
JAF広島支部が所有する機器を使用し、自動車の安全運転に必要な「速度予測と判断力・視野の広さと反応」の2つの能力について、楽しみながら診断した。



② 子ども安全免許証プレゼント

- ア 時 期：8・11月第4土曜日他
（1日2回）計4回
- イ 開催場所：1階 多目的ホールなど
- ウ 参加者数：298人
- エ 実施内容
JAF広島支部が所有する機器を使用し、交通安全に関するクイズに答えた子どもに、顔写真入りのカード（子ども安全免許証）をプレゼントした。



③ ちびっこ運転体験とVRゴーグル体験

- ア 時 期：9・10月第4土曜日他
（1日2回）計4回
- イ 開催場所：1階 多目的ホール
- ウ 参加者数：583人
- エ 実施内容
標識や信号に関するクイズに答えた子どもが、屋内特設コースをJAFカラーのペダルカーで走行し、交通安全に関する基礎的なルールを楽しみながら体感した。またVRゴーグルを通して交通事故等をリアルに体験し、交通安全意識を高めた。



(3) 出張展示

○「江戸時代の水辺の風景」

ア 時 期：通年

イ 開催場所：舟入公民館、戸山公民館

ウ 観覧者数：1, 331人

エ 実施内容

令和元年度ビークルギャラリー「江戸時代の水辺の風景」で制作・展示したパネルの貸し出し。

2. 教育普及事業

●令和2年度 教育普及事業 実績報告

交通科学館では開館以来、工作教室やサイエンスショー、ビデオ上映会などを通して、乗り物や交通に対する興味・関心を喚起し、知的好奇心を満たしていく事業を実施してきました。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために運営方法等に十分配慮しつつ、市民の参加機会をできる限り確保する方向で事業を実施しました。

(1) 教室事業

ア ちびっこ教室 ●実施日数 39日(78回) 参加者数 2,448人

主に日曜日や祝日に、幼児から小学校1・2年生児童を対象として実施している入門編の工作教室です。色を塗る・はさみを使うといった工作の基本を重視したカリキュラムで、作る楽しさや工作物を完成させる面白さを経験できる工作教室を実施しました。



イ ちびっこ教室プレミアム ●実施日数 1日(2回) 参加者数 66人



厳選された材料を使用した、すこし贅沢なちびっこ教室です。本年度もクリスマス工作として大好評だった「スノードーム(びん詰め液体の中を、きらきらしたラムが漂う室内装飾品)」づくりをしました。

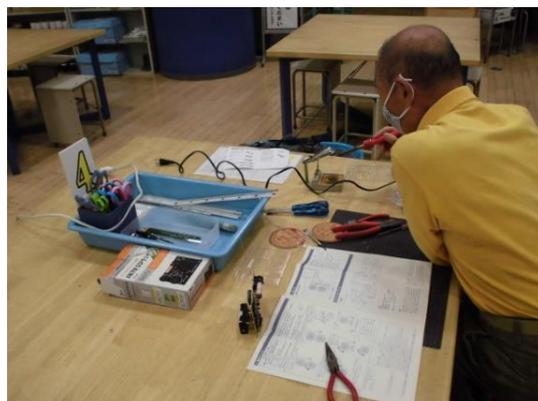
ウ 小学生工作教室 ●実施日数 14日(19回) 参加者数 388人

小学生を対象とした工作教室です。工作に明るい講師を招聘し、主にモーターなどを使って「動くもの」をテーマに、磁石やペットボトル・牛乳パックといった身近な素材を使用した工作を実施しました。



エ 大人の工作教室 ●実施日数 3日(3回) 参加者数 17人

大人を対象とした工作教室で、例年木工を中心に実施していますが、本年はそのうち1回に電子工作を取り入れました。



オ 乗り物テクノ教室 ●実施日数 1日(1回) 参加者数 11人

小学校5・6年生から中学生を対象として、より高度なテーマを工作や実習を通して学ぶ教室を開催しました。



カ 中高生工作教室 ●実施日数 1日(1回) 参加者数 6人

中高生対象に、ものづくりに関心を持ってもらうためにラジオやランタンを作る電子工作教室を実施しました。



(2) 工作教室以外の事業

ア ビークルシアター ●実施日数 15日(60回) 参加者数 1,081人

主に新幹線やはたらく車など、乗り物や交通に関するこども向けのDVDを中心に上映しました。



ウ サイエンスショー ●実施日数 12日(36回) 参加者数 1,199人

乗り物の動く仕組みや原理を楽しく・わかりやすく解説し、科学を身近なものと感じてもらえる科学実験ショーを実施しました。



エ あそびのひろば ラジコン体験 ●実施日数 5日(15回) 参加者数 735人

こどもがラジコンを自由に操作することを通して、運転操作や工作などに関心を持てるような事業を開催しました。



オ ビークルお楽しみステージ ●実施日数 3日(7回) 参加者数 199人

消防音楽隊の演奏会や人形劇、地元ヒーローショーなどを企画・実施し、交通安全をはじめ、防火・防犯などの啓発を行いました。



カ みんなであそぼう!ビークルパーク ●実施日数 4日 参加者数 1,098人

工作教室の作品を大型化したものや簡単なゲームなどを通して、ものづくりや乗り物に対して興味・関心を高める催事を開催しました。



キ 平日学校団体受け入れ事業 ●実施日数 6日(10回) 参加者数 411人

遠足や校外学習などで来館した学校団体を対象に、工作教室やサイエンスショー、被爆電車車内県は宇などを実施しました。



ク 博物館実習生受入れ ●実習期間 8 日間 2 人

学芸員資格取得に必要な館務実習を行い、実習生を受け入れました。



ケ 講師派遣 ●派遣回数 1 回 1 名 ※参加者数 25 人

公共施設等が開催する講演会に講師を派遣しました。

コ ライブラリー運営 ●利用者数 7,377 人

乗り物や交通に関する書籍や雑誌の閲覧および複写サービスを行っています。また、ビデオブースでは、いろいろな交通や乗り物のビデオを視聴することができます。



3. 新型コロナウイルス感染症の影響

(1) 臨時休館

- ①令和2年4月1日（水）～5月17日（日）
※令和2年2月29日（土）より臨時休館継続
※5月19日（火）より屋外広場のみ開館
5月22日（金）より屋外広場に加えて館内の一部を開館
5月29日（金）より館内の大部分を開館
- ②令和2年12月12日（土）～令和3年2月7日（日）
※2月9日（火）より屋外広場、館内とも開館

(2) 影響を受けたおもな事業

- ①春季企画展「はたらくラジコン」
- ・開催期間変更
当初予定：令和2年3月6日（金）～5月6日（水・休）
変更後：令和2年5月22日（金）～5月31日（日）
 - ・ラジコン体験コーナーの閉鎖
 - ・関連イベントの中止（令和2年度分）

事業名	中止日数（回数）
ギャラリートーク	5日（5回）
ミニドローン体験会	7日（14回）
ドローン体験会	1日（2回）
ビークルシアター（ホール事業と重複）	2日（8回）

- ②ビークルギャラリー「ヨーロッパ高速列車の旅」
- ・開催期間変更
当初予定：令和2年12月16日（水）～令和3年2月14日（日）
変更後：令和3年2月9日（火）～2月14日（日）

③中止となったその他の展示担当事業

事業名	中止日数（回数）
被爆電車車内公開	7日（14回）
ちびっこ運転体験	1日（2回）
ドライバーズビジョン体験	1日（2回）
子ども安全免許証プレゼント	2日（4回）

④中止となった教室事業

事業名	中止日数（回数）
ちびっこ教室（プレミアム1日2回を含む）	17日（27回）
小学生工作	2日（2回）

⑤中止となったホール事業

事業名	中止日数（回数）
あそびのひろば	10日（18回）
サイエンスショー	12日（36回）
ビークルシアター	13日（52回）
ビークルお楽しみステージ	3日（5回）